

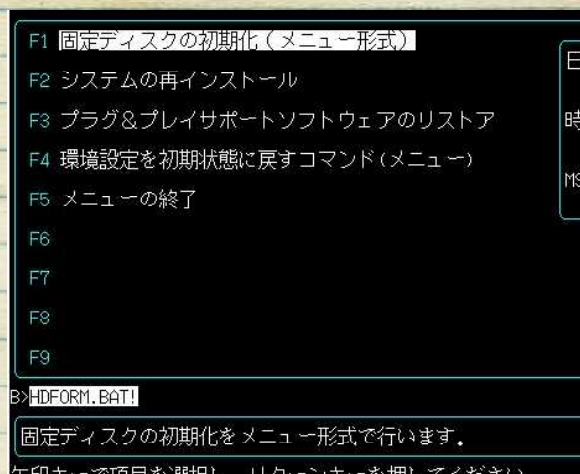
03 「CanBe (9821cx) 初セットアップ」

購入した CanBe (9821cx) のパソコンは自分の部屋に置くことになった。自分の勉強机にはパソコンを置くスペースが無かったので、折りたたみ式のテーブルを出してその上にパソコンを置くことにした。マニュアルを開き、書かれているとおりにディスプレイ、キーボード、マウス、電源コードを接続した。ただ繋げるだけの作業だが、パソコン初心者の子供にとっては神経を使い、疲れる作業だった。

ちょうどその日、隣の家からセキセイインコの雛をくれるという話があったのでもらうことになった。何故かその日はもらったインコの雛を自分の部屋に置くことにして、ただでさえパソコンの箱とか袋で散らかっている狭い4畳半の部屋に、空きティッシュ箱の中に入っているインコの雛が紛れるようにいた。自分は鳥が好きなのでパソコンの接続をしながらもインコに餌を与えたり空きティッシュ箱の中のインコをのぞいたりしていた。

パソコンの接続が終わり、電源を投入する。普通、PC-98 のパソコンは電源を投入すると「ピポッ」の起動音が鳴り、メモリチェックが表示される。しかし Canbe は「ジャラリーン」という音が鳴り、CanBe のマスコットである「キューハチ君」が現れた。

マニュアルによると初回はチュートリアル画面が現れるとあるが、ディスプレイに表示されたのは背景が黒のメニュー画面だった。



どうやら出荷時のミスで、Windows3.1 が起動できる状態になっていなかったようだ。初心者の自分には原因が分からず、とりあえずは接続ミスだろうと思ってマニュアルとパソコンの背面を比較したが間違いは見つからない。マニュアルを見たり、インコにちょっかい出したり、メニューをいじくったりしているうちに固定ディスクを初期化してしまったらしく、パソコンを起動すると「キューハチ君」が困った表情で謝っているような動作に変わってしまった。これは「システムディスクをセットしてください。」というメッセージである。

ギブアップだ。パソコンを買ったセキドに電話して状況を説明すると「1000 台に 1 台くらいにある不備です。おめでとうございます！」などと言われた。リカバリディスクを使用すれば復旧はできたが、パソコンを買ったばかりの自分にはリカバリディスクの意味すら分からず、別の本体と交換をした。

パソコン購入 1 日目のトラブルは忘れられない思い出となっている。